

## 目次

- 行事予定
  - ・ 事務局
  - ・ 東部部会
  - ・ 中部部会
  - ・ 西部部会
- 今後の予定
- ご案内
- 事務局だより

## 「2017 静岡県ニュービジネスフォーラム in 東部」

### スポーツ観光が地域を活かす～地域資源を活用したスポーツビジネス～

日 時:11月30日(木) 13:00～19:30  
会 場:三嶋大社社務所・みしまプラザホテル  
内 容:13:00～14:00 大会式典・第26回静岡県ニュービジネス大賞表彰式  
14:00～15:00 講演会 講師:池田弘氏((公社)日本ニュービジネス協議会連合会会長)  
15:00～16:00 事例発表  
①静岡県東部スポーツ産業振興協議会活動報告  
②ファルマバレープロジェクト健康をテーマにした地域づくり  
③富士箱根伊豆観光資源と可能性  
16:00～17:15 パネルディスカッション  
パネリスト  
・池田弘氏((公社)日本ニュービジネス協議会連合会会長)  
・府川尚弘氏((公社)静岡県観光協会静岡ツーリズムビューローディレクター)  
・池田弘氏((一社)静岡県ニュービジネス協議会副会長)  
コーディネーター  
・宮崎真行氏(静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会専務理事)  
17:30～19:30 交流会  
会 費:無料 \* 交流会参加費 5,000円

## 第26回静岡県ニュービジネス大賞

### 第二次審査(公開プレゼンテーション)

日 時:11月30日(木) 9:30～11:00  
会 場:三嶋大社社務所

\* 第二次審査は、公開プレゼンテーション形式となりますので、是非ご参加ください。

# 11月行事予定

## 【事務局】

### □関東圏 NBC 会員交流会

日 程:11月1日(水) 16:00~20:00  
会 場:清水園  
内 容:パネルディスカッション  
懇親会

### □平成 29 年度第 2 回理事会

日 時:11月8日(水) 14:00~16:00  
会 場:静岡県産業経済会館 3F「特別会議室」

## 【東部部会 サロン】

日 時:11月6日(月) 17:45~  
会 場:みしまプラザホテル  
内 容:「2017 静岡県ニュービジネスフォーラム in 三島」に向けて  
会 費:1,000 円

## 【中部部会 サロン】

日 時:11月6日(月) 18:00~  
会 場:カフェ TOKAI  
内 容:静岡県の成長戦略について  
講 師:静岡県経済産業部成長戦略推進課 産業課長 津久井剛氏  
会 費:1,000 円

## 【西部部会 運営委員会】

日 時:11月9日(木) 19:00~  
会 場:B.I.通商 3F 会議室

## =各種ご案内=

(公財)静岡県産業振興  
財団からのお知らせ

## 「平成 30 年度しずおか農商工連携基金事業

## 助成金」ご案内

(公財)静岡県産業振興財団では、静岡県、中小企業基盤整備機構と共同で総額 10 億円の「しずおか農商工連携基金」を造成し、地域産業の活性化をはかるため、中小企業者と農林漁業者が連携して行う、新商品の開発・販路開拓・省エネ等への取組に対して助成金を交付する「しずおか農商工連携基金助成事業」を実施します。

対 象 者:中小企業者と農林漁業者の連携体であって、連携体の代表者の主たる事務所、事業所又は住所が静岡県内である者

対象事業:新商品・新サービス開発事業・販路開拓事業・省エネルギー等対策事業

助 成 率:助成対象経費の3分の2以内とし、200万円を限度とします。

=詳細・申請について=

<http://www.ric-shizuoka.or.jp/noshoko/>

【お問い合わせ・お申込み先】

(公財)静岡県産業振興財団 研究開発支援チーム  
Tel 054-254-4512

(公財)浜松地域イノベーション推進機構からのお知らせ

## 「中小ものづくり部品メーカーの成長戦略を 考える」ご案内

市場のグローバル化に対応し、中小ものづくり部品メーカーが持続的な成長をしていくためには、中長期的な戦略を立てることが求められています。今回は、大手メーカーと中小企業、双方の視点から、自動車産業の最新技術動向や強みを活かした中小企業の戦略事例などをご講演いただき、西部地域の中小製造業者がどのような未来を描くべきか、一緒に考えましょう。

日時:11月14日(火) 14:15~17:20

会場:ホテルクラウンパレス浜松 4F 芙蓉の間

内容:講演 1「自動車産業の最新技術動向と中小企業の研究開発事例紹介」

(一社)日本自動車部品工業会 技術担当顧問 松島正秀氏

講演 2「中小企業の高付加価値型ものづくり戦略」

(株)由紀精密 代表取締役社長 大坪正人氏

対象者:県西部地域の中小製造業者

定員:100名

参加費:無料 \* 県西部地域以外の企業は 1,000円

= 詳細・お申込みについて =

<https://www.hai.or.jp/event/1114-seichosenryaku/>

【お問い合わせ・お申込み先】

(公財)浜松地域イノベーション推進機構 事業推進部 企業支援グループ

Tel 053-489-8111

(公財)静岡県産業振興財団からのお知らせ

## 「ふじのくに CNF プロジェクト推進事業 技術講習会」ご案内

静岡県では、セルロースナノファイバー(CNF)を利用した製品(用途)開発を支援するため、ふじのくに CNF フォーラムを立ち上げ、CNF を利用した製品(用途)開発を支援するプロジェクトを推進しています。CNF 技術講演会では、京都大学工学研究科の大嶋教授及びマクセル(株)(旧 日立マクセル(株))の遊佐様をお招きし、技術講演会を下記のとおり開催します。

日時:12月1日(金) 13:30~15:35(受付 13:00~)

会場:静岡市産学交流センター B-nest 大会議室

内容:講演会「新たな発砲射出成型技術とその応用展開」

マクセル(株) 技術統括本部技術開発室 副技師長 遊佐敦氏

「セルロースナノファイバーの特性を活かしたプラスチック発砲体の創製」

京都大学工学研究科 副研究科長・教授 大嶋正裕氏

定員:80名

参加費:無料

= 詳細・お申込みについて =

[http://www.ric-shizuoka.or.jp/news/news\\_433.html](http://www.ric-shizuoka.or.jp/news/news_433.html)

【お問い合わせ・お申込み先】

(公財)静岡県産業振興財団 企画・創業支援チーム

Tel 054-254-4511



住所  
〒420-0034  
静岡市葵区常磐町 2-6-8  
TOKAIビル 8F

TEL  
054-273-4835

FAX  
054-653-4988

E-MAIL  
[office-nb@snbc.or.jp](mailto:office-nb@snbc.or.jp)

当協議会 Web サイト  
URL  
<http://www.snbc.or.jp>

## 事務局だより

秋冷の候』会員の皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。

10月の事務局の動きについての報告です。

□4日から5日(木)JNB 全国大会開催 甲府富士屋ホテル

概要

(1)全国会長懇親会スケジュール (会長出席) 10月4日(水)17:10~20:00

(2)事務局長等懇談会 10月4日(水)19:00~21:00 市内ちろりん村  
・全国フォーラム開催についての意見交換

(3)JNB 新事業創出全国フォーラム 10月5日(木)11:00~19:00 甲府富士屋ホテル 2階「バンケットホール(桃源)」

◎第31回理事会 11:00~11:25

(決議事項)

第1号議案 平成29年度JNB新規会員承認の件

全国地域NBCの会員をJNBの正会員にする定款上の手続

全会一致により承認 資料は理事のみ提供、議事終了後回収

第2号議案 代議員選挙における中央選挙管理委員会委員承認の件

代議員選挙の実施に当たり規定の基づき4人の選挙管理委員を承認する。

第3号議案 特別参与選任(1名)の件

北海道ニュービジネス協議会会長 小砂 憲一氏

第4号議案 副会長選任(1名)の件

日本ニュービジネス協議会理事(株)メンバーズ代表取締役社長 剣持 忠 氏

第5号議案 2017年政策提言について

ベンチャー投資促進税制の再延長等について

以上5議案については満場一致により決議された。

(報告事項)

1 NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)提携の件

2 代表理事、業務執行理事の業務報告について

今年度9月末までの事業について進捗状況を報告した。

3 次期理事立候補の届出について

次期H30.6.11~平成32年定時総会終了まで

有資格者で理事の候補者になろうとする正会員は平成29年12月1日から12月30日までに代議員5名以上の推薦状の添付のうえ所定の届出用紙により届を行うこと。

有資格:H29.9.1現在正会員であった者

役員候補選出委員会が理事等に特に相応しいと決議した本会の正会員又は正会員

以外の者。

4 その他

2018年度は北海道で開催する旨報告があった。

◎JNB 正・副会長、県代表者会議 11:30~12:20 同ホテル

(次第)

1 JNB 会長挨拶

2 『地方版 Connect!』について JNB 理事 剣持 忠 氏

3 『エンジェルファンドについて』独立行政法人中企業基盤整備機構

◎ 第13回 JNB 新事業創出全国フォーラム 開会式 同ホテル内 13:00~13:25

・中小企業基盤整備機構高田担史理事長 あいさつ

・JNB 池田会長 あいさつ

・山梨 NBC 実行委員長 あいさつ

○ 第12回 JNB ニッポン新事業創出大賞 表彰式 同ホテル内 13:30~14:20

○ 記念シンポジウム/トークショー 同ホテル内 14:30~15:40

世界に通じる地域ブランドを創るには?

○ 記念シンポジウム/パネルディスカッション 同ホテル内 15:50~17:00

地域から始まる“新たなビジネス”

○ 大懇親会 同ホテル内 17:30~19:00

□12日(木)9時～15時 平成29年度静岡県NB大賞第1次ヒアリング(企画戦略委員会)

・平成29年度のNB大賞には、16件の応募があり、このうち7件(1件欠席)について第1次ヒアリングを行いました。第二次ヒアリングは、「2017 静岡県ニュービジネスフォーラム in 東部」当日(11/30日)9時に予定しております。

□13日(金)～20日(金) ウズベキスタン共和国視察研修  
(はじめに)

今年の視察先については所管である情報渉外委員会では、デンマーク・スウェーデン、ナイジェリア、バルト三国の三つの案が提案されたが、費用、その国の治安問題など様々な意見が出され、再度同委員会で検討することになった。再度開催された同委員会では中央アジアのウズベキスタン共和国視察案を提出して、賛同が得られ、理事会においても承認された。

当協議会の会員である矢崎総業が一般財団法人日本ウズベキスタン・シルクロード財団の会員であることから同国の視察先の紹介が可能であること、鴛田会長が前駐ウズベキスタン加藤大使と知遇であることにより駐日本大使館との連絡がスムーズに取れること。依然視察先として同国が候補に挙がっていたことなどによる理由である。

10月2日には同視察研修説明会が開催され、その中で加藤前大使及び同財団バヒリディノフ・マンズール代表理事が出席され、両氏からそれぞれ同国の基本情報ポイント、歴史・文化など幅広くご講演をいただき、視察員には出発前の事前研修を十分行うことができた。(空路ウズベキスタン)

10月13日から10日間の予定で成田空港を出発した。当協議会の会員20名で研修団を構成し、鴛田会長が団長である。直行便で約9時間、ウズベキスタンの空港に到着した。あまり広くない空港でウズベキスタンの飛行機のみが駐機している。機内は空席が目立ちその中でも日本人の旅行者が多くを占めていた。入国管理の手続きは、キューバでのそれとは違い関係者からの配慮が届いていたのか我ら視察団は一つのグループにされ、スムーズに手続きが行われ、加えて荷物の受け渡しも順調であったため、他の日本人旅行者からは羨ましがられた。

(第1日目の視察地タシケント)

独立広場、ハズラティー・イマール・モスクを視察後、在ウズベキスタン日本大使館(大使公邸)を訪問し、伊藤信彰大使及び堀口誠書記官と面談する。最初に名刺交換、鴛田会長からの訪問へのあいさつに続いて、事務局長より視察員の氏名紹介に基づき自己紹介が行われた。その後伊藤大使からウズベキスタンの国情等についてコメントがあり、それぞれ視察員との質疑応答があった。「この国は、人口3200万人、人々は勤勉である。一度言ったことは実行しようとし、努力する。他の中央アジアの国とは違う。」という言葉が印象的であった。その後の視察においても、日本人の勤勉性と共通していると感じたものであった。

タイからの空輸された日本人の料理人による日本食のもてなしに舌鼓を打ちつつ会話ははずみました。伊藤大使及び堀口書記官に改め感謝申し上げます。

(第2日目の視察)

首都タシケントから古都サマルカンドへの移動は高速列車による2時間の旅。2席の通路において1席横幅は併せて3席、前後は比較的広い。日本の列車に比較して走行中の快適性には欠けかも知れない。外の景色は岩肌の山、一部草原地での羊の放牧とほとんど変化はない。古都サマルカンド市内を視察する。

(第3日目の研修)

いすゞとの合弁会社「サマルカンド オートモビル ファクトリ」会社を視察する。生産担当部幹部アリフ・ジャンフ氏及び通訳とし事務部門のフォルモン・ハバチェット氏が対応してくれました。名刺交換、鴛田会長あいさつの後、視察員の自己紹介にはじまり、スライドによる会社説明が行われました。本社はサマルカンド、国内15店のディーラーがあり、バス及びトラックを製造している。日本からはいすゞのエンジン及びシャーシを輸入し、それ以外の部品はヨーロッパから輸入し、この工場を組み立て生産する。トラック3,000台、バス1,000台。従業員の福利厚生は非常に恵まれている。勤務年数によるが、1か月の有給連続休みがあるため、通訳してくれたフォルモン・ハバチェット氏はこれを利用して近じか日本に行く予定であるとのこと。コストについては、製品の品質を考慮して対応している。ロシアからの部品輸入については、値段品質ともに良く、輸入サンプルを送付してもらいチェック後、OKが出れば輸入をしている。最近ではスウェーデンからの輸入も検討している。日本からの輸入はいすゞとの関係が深い。等々視察員との質疑応答が交わされた。その後工場内での生産工程を視察した。

(第4日目の研修)

サマルカンド市内視察。高速列車にて首都タシケントに向かう。

(第5日目の研修:商工会議所とのミーティング)

ウズベキスタン商工会議所を訪問し、円卓会議を行う。初めにエイクラモフ・アドハム会頭によるあいさつ、(歓迎の言葉と日本とウズベキスタンとの投資交流の促進を図るため本日ここに関連企業の代表者に集まってもらっている。今後の投資交流を要望する)鶴田会長によるあいさつ(会議開催へのお礼及びSNBCの目的、設立経緯を説明し、今後の益々の両者の相互交流の促進を図りたい旨のあいさつをする)相互に土産又は記念品の交換がなされ、同会頭は所要のため、退席する。その後オレゲ・リジチェンコ投資部長が会議の主導を取り、2つのプレゼンテーションを行い、同部長の指名により、協議会側の出席者が自己紹介を行いこれに伴う質疑がなされた。

その後ウズベキスタン側の参加者の自己紹介があり、相互に同国の投資の状況や、日本の投資状況、ガス関連事業に係る質疑応答、意見交換が行われた。

今後の情報交換又は事業展開の紹介先のため、視察員とウズベキスタン側出席者の名刺交換を行うとともに、連絡先の一本化のため、ウズベキスタン商工会議所ニゴラ女史が窓口となる。

午後、第二次世界大戦でのソ連へ捕虜として抑留された日本人が建設し、最近の地震においてもビクともしなかった「ナヴォイ・オペラ・バレ劇場」において日本人の技術力に感動しながら、「バレ白鳥の湖」を鑑賞した。

(第6日目の研修:日本人墓地への献花)

先の大戦で亡くなった日本人が懇ろに埋葬されている「日本人墓地」を訪れる。哀悼の意を表わすため、献花をして、ウズベキスタンから空路日本に向かった。